

# とちぎ市議会だより

第44号(3月定例会)  
2020.5.20発行



## 未来に向かって 飛翔!

### 特集

- 災害復旧に11億円 ..... 2～3
- より実践的な研修を ..... 19
- 皆様の声を市長に ..... 20

- 敬老祝金の支給金額を削減 ..... 4  
(3月定例会で決まったこと)
- 23名の議員が市政を質す ..... 6～17  
(一般質問)
- 表紙写真の説明 ..... 19

# 前年度比2%増 過去最高の659億円

# 11億円

予算の審査って、どんなかんじなの？

昨年から新たに設置された予算特別委員会を中心に、議長を除く全議員が4分科会に分かれて、みんなの税金が適切に使われる事業計画となっているか審査したよ。



## 議案第2号 令和2年度 一般会計予算

**可決** 賛成 23  
反対 4

### 主な質疑応答

食とスポーツによる地域活性化計画  
策定委託事業費

質 事業の内容及び計画策定期間は

答 本計画の位置づけは、プロスポーツとの連携による地域振興と、イチゴやブドウ、ナシなど、食としての地域資源との連携により、観光や地域活性化に繋げていきたいというものである。なお、計画の策定期間については、今年度と来年度の2カ年で策定していきたい。

小平浪平生家管理費

質 本事業の到達点は

答 最終的な目標は、生家を長きにわたり保存、活用していくことである。現時点においては耐震調査や必要な整備を実施しており、後に一般公開していきたいと考えている。

オリ・パラ観戦ツアー参加者負担金等

質 事業の内容は

答 ホストタウン契約を締結したハンガリー国の近代五種選手団に関するオリリンピック観戦ツアーの参加者を募集するものであり、参加者一人あたり1万5000円を負担いただくというものである。

住宅用低炭素設備設置費補助金

質 補助の内容は

答 太陽光で発電した電気を貯めておく蓄電池の設置に対する補助と、電気自動車で貯めた電気を家庭で使用できる設備の設置に対する補助がある。

質 補助見込み件数は

答 100件程度を見込んでいます。

定住促進支援事業費

質 通勤者特急券購入費補助金に対する効果は

答 昨年度の実績として221件の申請があり、2600万円弱の支出があった。特急券を使用することで都内への通勤者が早く帰宅し、家族と過ごす時間が増えることが効果として期待され、利用者からは補助金の継続に対する要望がある。しかしながら公平性の観点から、当初申請から3年間で終了とする方針である。

質 本制度を利用するため、他市から市内に移住してきた事例は

答 正確には把握していないが、そのような話は何件か聞いている。

### 討論(議案第2号)

#### 反対

市は台風災害、消費税増税、さらに新型コロナウイルス感染症の拡大で大きな影響を受けており、市民の暮らしと生活をどのようにして守っていくのかが大きく問われている。「仮称」文化芸術館」の建設は災害による延期も当然であり、改めて反対を表明する。

今回の台風災害を受け、「子どもの遊び場」の建設凍結など、大型事業を大幅に見直すことになったが、単に延期するだけでなく、抜本的な再検討が求められていると考える。

#### 賛成

本予算については、総合計画の基本方針に沿った各種の事業がバランスよく配置されており、子育て支援や定住人口・交流人口の増加など、本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業に重点化が図られている。

厳しい財政状況の中ではあるが、喫緊の課題に的確に対応するとともに、将来を見据えたメリハリのある予算となっていることに対し、高く評価したいと考えている。

# 特集 予算審査

# 令和2年度一般会計 災害復旧に

新年度の予算案では、昨年の台風第19号で被災した道路や橋の復旧工事に11億1600万円、大平文化会館の復旧工事費として1700万円など、災害復旧費として11億3300万円を充てる一方、予定していた大型事業の着工延期が示されました。

市長からは、『復興の年』の旗印のもと、災害に強く優しい街づくりを進めていく」との説明があり、これを受けて、議会では適切な予算編成となっているかどうかの審査をしました。

## 令和2年度の主な事業の一部を紹介

**国土強靱化地域計画  
策定業務委託費 400万円**



大規模自然災害等に備えます

**伝建地区ガイダンス  
センター運営委託事業費  
1029万円**



拠点施設の管理運営を委託します

**新生栃木市10周年  
記念式典事業費 265万円**



市民の皆様とお祝いします

**北部健康福祉センター管理  
運営委託事業費  
9009万6千円**



管理を指定管理者に委託します

**清水川支川分水路  
整備事業費 1億400万円**



館野川の改修工事をします

**ネット119緊急通報  
システム事業費 510万円**

**119番**



聴覚障がい者等の方が通報を行えるようにします

**道路橋梁災害復旧事業費  
11億1600万円**



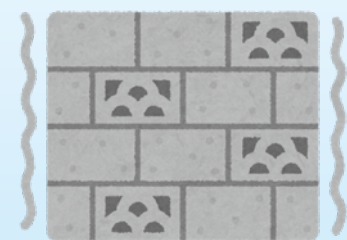
市内各所で復旧工事を行います

**生物多様性保全事業費  
109万2千円**



特定外来生物による被害を防ぎます

**ブロック塀等撤去改修  
工事費補助金 400万円**



倒壊による被害を防止します

# 3月定例会で決まったこと(主な議案等)

特集ページで取り上げたもののほか、3月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。

各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



## 敬老祝金の支給金額を削減

議案第15号 栃木市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例の制定

**可決** 賛成 24 反対 3

### 議案の概要

高齢者福祉施策の見直しに当たり、敬老祝金の支給内容を改める。  
1. 支給要件を85歳の誕生日を迎える者と100歳の誕生日を迎える者に改める。  
2. 支給額を85歳の誕生日を迎える者に1万円、100歳の誕生日を迎える者に10万円とする。

### 主な質疑応答

#### 質 改正内容の周知方法は

答 今回支給対象から外れる方には、議決後、直ちに案内を送付し、ご理解をいただきたいと考えている。また、各シニアクラブの総会等でも案内していきたい。

#### 質 経過措置を講じる考えは

答 経過措置を講じた場合、非常に複雑な制度になる恐れがある。また、高齢者が増加する状況においては、施策の見直しが必要という考えもあり、経過措置を講じることは難しいと思われる。

#### 質 改正による削減額は

答 合計で2580万円程度の削減になる。来年度は、大部分を災害復旧に充てることとなるが、令和3年度以降は、高齢者に対する新たな施策や、高齢者を支える若者への施策のための予算確保に努めたい。

## 斎場建設地の見直しを

請願第1号 栃木市火葬場建設に関する請願書

**不採択** 賛成 1 反対 26

### 主な意見

#### 採択とすべき

・本事業に関しては、これまで、建設地の安全性、ならびに地域住民の要望をかなえるために必要とする予算についての説明が、議会や地域住民に対し、十分に行われたとは言いがたく、ことごとく南部清掃工場跡への建設ありきで進んできた。このことから、本請願を採択した上で、斎場再整備事業を白紙に戻し、建設地の再選定を行っていただきたい。

#### 不採択とすべき

・以前、地域住民から市に対しての要望書が提出されたが、この要望書は、地域住民が斎場建設に対し、苦渋の決断をし、建設を容認した上で提出されたものである。このことから考えても、見直しの理由を三谷地区住民の同意が得られていないこと



既に整備が決定している南部清掃工場跡地

としたこの請願は採択できない。  
・新斎場の建設場所は、正式な手続きを経て南部清掃工場跡に決定した。市は、建設予定地が土砂災害特別警戒区域に指定されていることに対しても十分な調査を行い、必要な対策を講じようとしている。また、財源確保の点や、早期の施設整備が求められている状況を考えると、これ以上、建設を遅らせることは容認できないことから、この請願は採択できない。

本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案番号と発言した議員名は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

- 議案第 2号 ●川上 均 議員、●内海 まさかず 議員、○小堀 良江 議員
- 議案第 3号 ●白石 幹男 議員、○小堀 良江 議員
- 議案第 4号 ●白石 幹男 議員、●内海 まさかず 議員、○小堀 良江 議員
- 議案第 5号 ●白石 幹男 議員、○小堀 良江 議員
- 議案第 9号 ●白石 幹男 議員、○天谷 浩明 議員
- 議案第15号 ●白石 幹男 議員、○天谷 浩明 議員

**賛成**

敬老祝金の見直しについては、高齢者福祉施策の見直しの一環として、高齢者を支える施策の充実を図りながら、高齢者を支える世代や子育て世代への支援策に重点を移すとともに、現金給付から制度施策の維持充実を図る方向へ政策を転換するもので、現在の本市をとりまく状況を考えると、やむを得ないものと判断する。今後においては、支給対象から外れる方や、シニアクラブなどに丁寧な説明をして、ご理解をいただくよう努めていただきたい。

**反対**

今回の議案は、敬老祝金の90歳、95歳、101歳以上の支給を廃止するというもので、予算では2500万円もの削減となった。執行部は「現金給付から施策の充実に方向転換する」としていたが、令和2年度は支給額の大幅削減のみで施策の充実はない。現金給付からの方向転換に反対するものではないが、一気に削減するのではなく、経過措置を設け、市民の理解と周知を図りながら、丁寧に進めるべきだ。

**討論(議案第15号)**

### 議案等の審議結果

3月定例会では、議案31件、請願1件が審査され、その内、全会一致は25件、賛否が分かれた議案等は7件でした。

賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。賛成：○、反対：●、欠席：-

番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	25	26	27	28	29	30
			森戸 雅孝	小平 啓佑	浅野 貴之	川上 均	大浦 兼政	古沢 ちい子	大谷 好一	坂東 一敏	青木 一男	茂呂 健市	内海まさかず	小久保かおる	針谷 育造	氏家 晃	入野 登志子	千葉 正弘	白石 幹男	永田 武志	福富 善明	広瀬 義明	関口 孫一郎	針谷 正夫	大阿久 岩人	松本 喜一	小堀 良江	梅澤 米満	福田 裕司	中島 克訓	天谷 浩明
議案第2号	令和2年度 栃木市一般会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和2年度栃木市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和2年度栃木市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和2年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和元年度栃木市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	栃木市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	栃木市火葬場建設に関する請願書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○



針谷 育造 議員  
創志会

### スタジアム建設予定地の 使用料と固定資産税の免除 は止めるべき

民間企業である栃木シティフットボールクラブに対し、スタジアム建設が計画されている市有地の使用料、固定資産税を免除する法的根拠及び免除期間と免除の合計額について伺う。

また、納税者である市民との公正性・公平性を図ることは税の基本であり、行政の信頼を失いかねない重要な問題と考えるが、どのように市民へ説明するのか併せて伺う。

答弁 大川市長

### できる範囲での 支援として行いたい

使用料については市公園条例に免除できる定めがあり、固定資産税についても市税条例に免除でき

- 台風19号の被害状況とその責任、及び今後の対応
- 栃木シティフットボールクラブのスタジアム建設
- 栃木の地下水と保全条例制定
- 台風19号で被災した職員の状態と人件費削減等

ることが定められている。

免除期間については都市公園法の定めに合わせて10年とする。また、使用料については、現在の規模で試算すると、年間で約1300万円となるが、固定資産税については、整備額や使用資材などが固まっていないため、現段階では決まっていない。

この度のサッカー専用スタジアムについては、岩舟地域の活性化への寄与、市民の一体感の醸成などにつながるようになるので、新たな財政負担を生じることなく、できる範囲での支援として、使用料と固定資産税の免除を行いたい。



スタジアム整備地となる岩舟総合運動公園

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



内海 まさかず 議員  
創志会

### 現職政治家への祝賀広告は 問題ではないか

昨年11月の衆議院解散総選挙がささやかれている時期に、栃木市は現職政治家に関する記事に対し、協賛広告を出した。過去においても、平成29年の解散総選挙の1カ月前に協賛広告を出している。

現職政治家に関する祝賀広告は、栃木市という自治体が対象政治家に対し、好意ないし応援の意思を表明しているとの印象を市民に抱かせるもので、不適切である。

また、行政の中立性の観点から問題があるのではないかと。

答弁 大川市長

### 決して、現職政治家の成功 に対する祝賀広告ではない

行政の政治的中立性については、一定の判断基準を設けている。

- 災害支援の在り方
- 政治家個人に対する宣伝広告対応

市としては、地元選出国會議員が国務大臣に就任し、国民や国益に資するため、職責を全うしていただきたいという期待を込めて協賛したものであり、決して、現職政治家の成功に対する祝賀広告ではない。

しかしながら、市が対象個人に対し、好意ないし応援の意思を表明しているとの印象を、市民に対し抱かせるものではないかとの指摘もあるので、今後も慎重に判断していく。



小中学校の視力検査に屈折検査の機器を導入できないか



小久保 かおる 議員  
公明党議員会

令和元年度の県内の小中学生のうち、裸眼視力が1.0未満の割合は平成以降で最も高く、20年前と比べ、小学生は2倍超となる33.2%、中学生は25%増の59.4%になると下野新聞に掲載されている。

視力低下が進むと、学力や運動能力の低下にも影響するため、早期対処が必要である。

そこで、検査の信頼性が高いとされるスポットビジョンスクリーナーを視力検査に導入できないか伺う。

答弁 川津教育部長

眼科医等の意見を伺い、研究していきたい

現在、小中学校で行われている眼の検査については、眼位異常の

- 引きこもり対策
- 交通弱者の足の確保
- 子どもの視力低下
- 子どものスマートフォン等の利用

有無等を検査し、弱視の早期発見に努めるとともに、視機能の低下を予防するため、毎学年実施している。

市の3歳児健診で実施しているスポットビジョンスクリーナーを用いた屈折検査は、眼の検査が難しい乳幼児でも短時間に行うことができる。

早期に遠視、近視、乱視、斜視などを発見し、治療することによって、将来弱視になることへの予防や、視機能の発達を助けることができる。

このことから、スポットビジョンスクリーナーの導入については、実施時期や効果について、眼科医や養護教諭、保健師等の意見を伺いながら、研究していきたい。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



永野川の完全復旧に向けた計画は



永田 武志 議員  
無党派

台風第19号により、県管理の1級河川である永野川の堤防6カ所が決壊し、市内の多くの民家や畑、大型商業施設や公共施設などで未曾有の被害を受けた。関東・東北豪雨に続き、今回も被災された市民もいる。二度とこのような惨事が起きてはならない。

県に対し、決壊堤防で堅牢な改良復旧工事を実施し、永野川を安全な河川にすることを強く要望していただきたいが、県の工事計画は市に対し、どのように示されているのか。

答弁 國保建設部長

改良復旧の導入に向け、国と協議・調整が進められている

永野川の復旧については、市街

- 永野川を安全河川に・決壊堤防の堅牢な改良復旧を

地部などで複数の堤防決壊が発生したことから、県では改良復旧の導入に向けて、国と協議・調整が進められている。

今回、県で予定されている復旧事業の内容は、下流の国道50号橋梁付近から、上流の皆川城内町地内藤川合流部付近までの約12キロメートルの区間の中で、堤防の復旧と併せ、河川断面の拡大や河川法線の改善などを集中的に実施することとなっている。

また、永野川の星野町地内の復旧については、今後、堤防の復旧とともに、堤防の強化を図り、併せて堆積土砂の撤去などの事業を進めること考えられている。





広瀬 義明 議員  
無会派

**甚大な被害を受けた商工業者へ  
平等な支援による救済措置を**

台風第19号による農業の被害額は8億6700万円、商工業の被害額は72億7000万円であった。

そして、補正予算に計上された復旧のための予算額は、農業が6億7000万円に対し、商工業は1億7500万円であった。

商工業への支援策は、国・県からの支援だけで済むものなのか。

農業と同じような補助とは言わないが、商工業に携わる市民へ、市独自の施策を展開することはできないか。

**答弁** 福原産業振興部長

市だけの支援は難しいので、**国や県の制度を活用して  
いただきたい**

農業と商工業への支援は、市の

○栃木市消防  
●台風19号災害に対する対応

補助率が約15%から20%と同じであるが、農業者については国や県の上乗せの補助があり、その分をまとめて市が補助するので、金額に多くなる。

商工業者については、県が事業主体となり、直接県から補助することになるので、市の予算には計上されず、差が出てしまう。

商工業者は、機械や車両など、非常に被害額が大きくなり、市の予算だけで支援するのは難しいので、国や県の支援制度を活用していただきたい。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



浅野 貴之 議員  
誠心

**妊産婦に寄り添う  
支援の充実を**

産婦アンケートの調査結果や下都賀周産期医療圏における状況から、今後の母子保健事業は多角的かつ柔軟な検討が必要と考えるが、市長の目指す「子どもを産み育てやすいまちづくり」について、今後の方針を伺う。

**答弁** 大川市長

**真に必要な支援策について、  
さらに検討を重ねていく**

アンケート調査の結果では、出産後の育児不安や、育児に対するサポートの要望が多く寄せられていた。

このことは、パートナーや親族の協力が得られず、実質一人で育児を行うワンオペ育児の方が多く存在することが推察されるので、

●周産期医療の在り方  
○職員のワーク・ライフ・バランスの推進

夫の育児休業や育児参加を促すよう、社会全体で考える必要性もあるのではないかと考えている。

出産後、パートナーの育児休暇が取れるような環境づくり、そして働き方改革で早く帰宅し、共に育児をして、出産した女性の不安を取り除くことが、育児を楽しくする一つの大きな要因になると思われる。

今後、アンケート調査の結果を踏まえ、産後ケアの充実、医療や子育て支援の充実など、多方面から真に必要な支援策について、さらに検討を重ねていきたい。







青木 一男 議員  
明 政

**買物弱者救済のため、  
移動販売事業に  
取り組んでみては**

運転免許証を持っていない高齢者などの買物弱者に対する支援としては、バスやタクシーの無料乗車券の配布、買物代行サービスや買物ツアーの実施などが考えられる。

また、移動販売事業を商工会議所、商工会、JAなどと協力して行うことも高齢者や中山間地域、買物困難地域の利便性向上につながると思われる。

買物弱者と事業者の両者にメリットがあり、福祉の向上にもつながる移動販売事業の実施について、市の考えを伺う。

**答弁** 福原産業振興部長

**地域の実情に合った仕組み作りを研究していく**

○環境問題  
●高齢者支援

高齢者等の買物弱者対策は、福祉や介護、交通インフラ、流通、経済まで幅広い領域にまたがる施策であり、多くの所管部署が横断的に関わり、進めていかなければならない問題である。

このような中で、移動販売事業は、利用者にとって大変魅力的な施策の一つといえる。

しかし、今後、ますますの増加が予想される買物弱者への魅力的な施策を継続的に実施するためには、事業が採算ベースに乗るような仕組みづくりや、民間事業者や関係機関、団体等との連携などの環境づくりも必要であると考ええる。

このようなことから、農商工連携の中核を担う、栃木商工会議所や各商工会、JA等の関係団体と連携を図り、移動販売事業も含めて全国の先進事例を調査し、地域の実情に合った買物弱者支援の仕組み作りを、総合的に研究していく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



古沢 ちい子 議員  
公明党議員会

**地域自治制度を生かし  
今後の危機管理を考えては**

地域自治制度における「地域会議」と「まちづくり実働組織」。この2つの組織は、市民自発のまちづくりや地域の交流・連携を目指す上で、大きな役割を担っている。

これらの地域組織を生かし、本市が経験した自然災害の教訓を、自主防災組織の立ち上げや地域の共助意識の定着などにつなげ、危機管理意識の向上を目指すことが重要と思われるが、市の考えを伺う。

**答弁** 小保方総合政策部長

**地域自治のさらなる推進で  
安心安全なまちづくりにつなげる**

地域会議とまちづくり実働組織は、ともに地域自治において重要な役割を担っているという点がある。

●地域自治制度  
○認知症施策の現状と今後の取り組み  
○健康マイレージ

また、今後の少子高齢化、人口減少を見据えた場合、地域のコミュニティを維持し、自発的に地域の課題を解決していく環境を創出していくことが重要であり、本市の地域自治制度は、地域会議とまちづくり実働組織の活躍により、そうした流れを作り出していく仕組みと考えている。

今後は、両者がそれぞれの特性を生かしながら、相乗効果を生み出すことのできる環境を整備し、本市の地域自治のさらなる推進に努めることで、災害に強い、安心安全なまちづくりにもつながっていくものと考えている。





福田 裕司 議員  
創志会

### 今後の被害を防ぐために 河川の改良復旧を

豪雨災害の被害で最も大きな要因としては、河川の決壊や越水、溢水が考えられる。これらを防ぐために、市は、国や県と協議して、対策を講じていく必要がある。

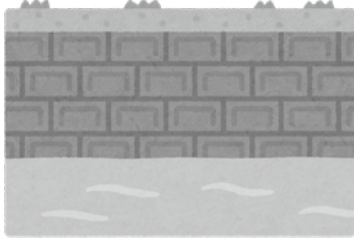
今後の被害を防ぐためにも、根本的な河川の改良復旧が必要と考えるが、本市の検討状況を伺う。

答弁 國保建設部長

### 早期に対策方法と事業化への見通しを確立させたい

永野川については、県が国の「改良復旧」の採択に向けて、国と協議・調整を進めている。

また、巴波川については、平成27年の災害と合わせ、2度の浸水被害が発生していることから、甚大な水害の再発を防止する、抜本



●豪雨災害の教訓を活かした栃木市のまちづくり  
○今後の地域における子育て支援

的な治水対策が必要であると考えている。

このことから、国・県・市の三者で連携した浸水対策の検討会議を今年2月にスタートしたところであり、早期に対策方法及び事業化への見通しを確立させたいと考えている。

また、その他の河川などについては、今年の1月末をもって国の災害査定作業が全て終了したことから、今後順次、護岸の復旧とともに堤防の強化を図り、併せて堆積土砂の撤去などの事業を進める方向で考えられている。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



入野 登志子 議員  
公明党議員会

### 市長公約の「財政健全化」に向けた今後の具体的な取り組みは

大川市長が基本理念とする3つの柱の一つに、「財政の健全化」がある。

市長は、就任後、(仮称)文化芸術館の設計内容の見直しによる事業費の圧縮、ならびに市長報酬の3割削減などを実行し、財政健全化に向けて取り組んできた。

さらなる健全化を目指し、今後どのように取り組んでいくのか、具体的な施策を伺う。

答弁 大川市長

### 引き続き、大型事業の見直しや事務の効率化を進める

財政健全化については、昨年の台風第19号被害による影響から、さらに厳しいものとなり、今後、より一層の取り組みを行う必要が

●持続可能な財政運営  
○サッカー専用スタジアム  
○新型コロナウイルスの対応  
○東京2020オリンピック聖火リレー

あるものと考えている。

そこで、令和2年度当初予算においては、大型事業の見直しとして、伝建地区拠点施設整備事業の第2期整備計画及び、子育て支援施設子ども遊び場整備事業を延期したほか、職員の働き方改革を後押しすることで時間外勤務を削減し、結果として人件費の抑制を図る取り組みを実施することとした。

令和2年度以降についても、引き続き大型事業の見直しや、事務の効率化等による財政健全化の取り組みを押し進め、持続可能な財政運営を行っていく。





大谷 好一 議員  
誠 心

### 永野川周辺における 溢水対策事業の見通しは

蘭部町や片柳町地内を通る県道栃木環状線や、永野川付近の浸水被害の防止、ならびに周辺地における雨水対策のため、永野川左岸第1排水区の事業を計画されたが、当該区域の溢水対策を進めるに当たつての基本計画にのっとりた事業の進捗状況と、今後の見通しについて伺う。

答弁 田中上下水道局長

### 県の事業と協議・調整し、 整備を進めていく

永野川左岸第1排水区の事業計画については、浸水被害の防止と雨水対策を目的とした雨水渠事業として、平成24年3月に下水道法の事業計画及び都市計画の事業認可を取得したものであり、本計画

- 台風19号による被害からの復旧・復興
- 公共下水道（雨水）永野川左岸第1排水区の基本計画

に基づき事業を進めているところである。

現在の状況は、調整池及び排水ポンプ整備の事業用地についてはおおむね取得が済み、昨年9月下旬に雨水渠施設整備工事を発注したが、台風第19号により永野川が甚大な被害を受けたため、工事を中止したところである。

今後は、県における永野川河川改修事業と協議・調整し、改修計画との整合性を図りながら、計画を一部修正した上で、整備を進めていく予定である。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



天谷 浩明 議員  
誠 心

### 蔵井地区の水害防止のため 排水ポンプを設置しては

大平町蔵井地区は、県道蛭沼川連線と永野川に挟まれており、大雨時には、県道によって雨水の排水が遮断される状況となる。

平成27年と昨年の台風時には、地区内の多くの住宅で床上浸水の被害に遭った。

今後の被害を防ぐ方法として考えられるのは、雨水を県道の下から抜くか、または排水ポンプを設置することしかないと考えるが、市の見解を伺う。

答弁 福原産業振興部長

### 状況に応じて、臨時的な 強制排水ポンプを設置する

西元排水機場は、台風等の大雨で発生する内水の浸水対策として設置されているが、近年の異常気

- 河川の復旧・改善
- 永野川の諏訪橋改修
- 蔵井強制排水機
- 河川・用水路の水門管理
- 災害についての職員の対応
- 車両のハイビーム走行

象の影響による排水機の能力を超えた雨量により、蔵井地区では内水による被害が2度発生している。

内水被害を防ぐために雨水を県道の下で抜いた場合、抜いた雨水による2次被害が発生する恐れがあることから、雨水の処理について、調整池の整備や排水路の整備等を検討する必要があると考えている。

また、排水ポンプについては、排水機の能力を超えた雨量が予測される際に、状況を判断し、臨時的な強制排水ポンプを設置し、対応する。

いずれにしても、この地区の内水による浸水対策については、河川改修対策や上流部での治水対策等が必要であることから、県などの関係機関と協議を行いながら、総合的に検討していく。



福富 善明 議員  
明 政

**農村に可能性や価値観を感じ、全国的に移住者が増えている**

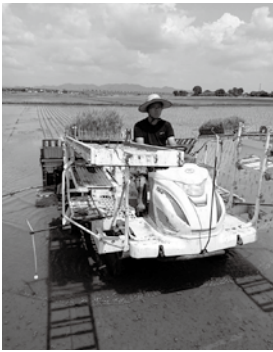
農業に夢を持ち、意欲と使命を感じている新規就農者たちの挑戦を認め、失敗しても支えられるような社会を構築しなければならぬと思つ。本市の新規就農者への支援制度の概要について、また、今年度及び過去2年の新規就農者数について伺つ。

【答弁】 福原産業振興部長

**県南ではトップの  
新規就農者数である**

就農者への支援制度としては「新規就農サポート事業費補助金」があり、就農後3年以内で、年齢が50歳未満の方を対象とし、営農に必要な経費の2分の1を補助し、2年間で最大60万円の支援を受けられる。

さらに「青年農業者海外派遣研



藤岡地域で活躍する  
新規就農者

修補助金」として、官公庁が主催する農業海外派遣事業に参加する39歳までの農業者に、最大で10万円の研修補助金を交付する制度がある。  
営農支援としては「担い手農地集積促進補助金制度」があり、市農業公社を利用して農地の利用集積を行った認定新規就農者に対し、集積した面積に応じた補助金を交付するものである。  
次に、今年度の新規就農者数は、現時点で26名、平成30年度は24名、平成29年度は30名である。  
これら新規就農者に対する支援策が功を奏し、県南ではトップの新規就農者数となっている。

- 栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 農業経営者への支援
- 台風第19号に関する対応

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



小堀 良江 議員  
栃木未来

**見えない敵との戦い  
危機感を持って対応を**

昨年末に発生した新型コロナウイルスの感染が各地で広がり続けている。

そこで、予防対策、感染状況、医療体制等、市民の皆様が正しい情報のもと、的確な対応をされることが大切であると考えます。  
「正しく恐れるための情報の発信」について、市の考えを伺う。

【答弁】 藤田保健福祉部長

**不安を払拭できるような  
取り組みを**

「正しく恐れるための情報」が感染症の予防に大きな影響を持つものと考えており、新しい情報をいち早く発信することのできる、市のホームページやツイッターで情報発信をしているほか、FMく

- 新型コロナウイルス
- 地球温暖化対策

らや自治会回覧を行い、手洗いや咳エチケット等の感染症予防をお知らせしている。

しかし、新型コロナウイルス感染症は、過去にヒトで感染が確認されていなかった新種であるため、未知な部分が多く、情報も刻々と変化している。

本市としては、国や県からの情報を、正確にわかりやすい言葉で発信し、感染症に対する不安を払拭できるよう取り組んでいく。





大浦 兼政 議員  
栃木政策研究会

### ごみ屋敷に特化した条例を制定し、防止策の強化を

全国的に深刻化するごみ屋敷問題に対し、ごみ屋敷条例の制定は、窓口が明確化され、各課の連携を円滑にし、再発防止や他の問題の早期発見、早期解決などのメリットがある。

問題ごとにプロセスを踏み、システマ的に対応していくため、今後増加すると予想されるごみ屋敷に対し、ごみ屋敷対策に特化した条例の制定をしていく考えはあるのか伺う。

答弁 大川市長

### 福祉的な支援が優先されると考える

ごみ屋敷問題については、ごみ屋敷条例を制定し、罰則を強化し、市が代執行すれば、問題が解決す

- ごみ屋敷問題から見える栃木市の将来の危険性とその対策
- 排水先が河川しか無い地域の対策
- 「栃木市民の歌〜明日への希望〜」(吹奏楽譜面の作成)

る場合もあるが、その背景には個々の要因があるものと考えられるので、それぞれに寄り添い、信頼関係を構築するとともに、生活上の課題を解決するために福祉的な支援をしていくことが優先されるのではないかと考えている。

まずは、現在ある条例を活用しながら、市役所内部の福祉部門や環境部門などの関係部署間で連絡調整を十分に図り、居住者への支援を充実させるとともに、居住者の近隣に住まわれる方のケアを図っていくことも必要であるので、地域住民の方や地域包括支援センター等と情報を共有しながら、問題解決に向け取り組んでいく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



針谷 正夫 議員  
弘毅会

### 西方城跡の国史跡指定化へ

西方城跡の国史跡指定に向け、今年度、西方城跡の航空レーザー測量調査や発掘調査が行われ、令和2年度も引き続き発掘調査等を実施する予定と承知しているが、これまでの結果と国史跡指定まで進む今後のプロセス及び指定時期について伺う。

答弁 鵜飼生涯学習部長

### 令和5年度の指定を目指している

今年度の主な調査成果として、土塁の石積みを確認した結果、侵入防止のための土塁の内部に石積みがされていたことから、何度か城を改修していることが推察される。

また、丘陵を大きく削り、曲輪を造っていることが確認でき、大規模な土木工事が行われたことが

- 健康寿命の延伸〜健診・人間ドック、がん検診受診率の向上
- 窓口対応の向上
- 西方城跡の国史跡指定

分かった。  
出土物としては、土師器皿、青磁皿などが発見され、昨年11月に開催した現地説明会で、市内外から参加した約80名の方々に公開した。

教育委員会としては想定以上の成果があったと考えており、専門者会議においても大変高い評価をいただいたところである。

今後の調査としては、現地での発掘調査のほか、古文書などを調べる史料調査と、昔の地名や地割を調べる地籍調査を行う予定である。

なお、国史跡指定の時期については、令和5年度の指定を目指している。



雨の中開催した11月23日の現地説明会



中島 克訓 議員  
弘毅会

より実践的な、  
命を守る防災訓練の実施を

人は危機に瀕すると、普段やっていることしかできないことや、普段やっていることも満足にできないことがある。ましてや普段やっていないことは絶対にできない。

このようなことから、防災訓練や避難訓練は必要で、さらに水害を想定しての避難経路確認や、避難所開設等の訓練を加えた、より実践的な命を守る訓練にすべきであると考え、今後の防災訓練をどのように進めていくのか伺う。

答弁 福田危機管理監

市民参加型の避難所開設  
訓練などを検討していく

来年度の総合防災訓練は岩舟地域を予定しており、実施にあたって、災害時に的確な初動対応につ

○河川復旧の現状  
●今後の防災

ながるよう、実践的な内容のほか、今回の水害を踏まえ、発表される様々な情報の中から有効な情報を基に、避難行動に結びつくような訓練や、市民参加型の避難所開設訓練などを検討していく。

また、今回の水害では、市との災害協定に基づき、様々な関係機関からの協力を得たところであり、今後は、より強固な関係が構築できるよう、関係機関の参加についても積極的に働きかけていく。さらに、令和4年度には、栃木県と合同で行う総合防災訓練が予定されており、県との連携を密にし、入念な準備をしていく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



白石 幹男 議員  
日本共産党栃木市議団

アーチャー・レバー工法で  
越水しても壊れない堤防に

堤防決壊のメカニズムとして、越水による水流によって堤防の裏のり面が侵食され、堤防の決壊に至るといったことが指摘されており、越水しても壊れない堤防にすることが減災につながる。

堤防の強化策として「アーチャー・レバー工法」が有効と言われており、簡単に言えば、堤防を防水シートで覆い、越水に耐えられる堤防にする工法で、県にこの工法を導入することを求めるべきだと考えるが、市の見解を伺う。

答弁 國保建設部長

専門的な知見から  
お願いしていく

超越水堤防としての「アーチャー・レバー工法」を確認すると、堤防

- 河川の復旧・改修
- 民間によるサッカー専用スタジアム整備
- 国保税の子どもの均等割の減免
- 多胎児育児の支援

の越水による決壊防止に有効な方法の一つと考えられる。

河川における堤防整備の工法や形状の設計については、河川の地形や河道の状況などの条件を踏まえて選定されることになる。

県に対しては今回の提案を受け、堤防強化策の一つとして伝えていくとともに、今後の復旧にあたっては専門的な知見から、安全性の高い堤防の構築をお願いしていく。



さくら保育園裏の永野川堤防決壊の様子



川上 均 議員  
日本共産党栃木市議団

### 仮設住宅やムービングハウス設置で、長期避難の改善を

台風第19号での避難所生活は、長い人で2カ月に及んだ。長期避難は健康面、精神面などで負担が大きく、深刻な問題である。

近年、災害で亡くなる方よりも、避難生活などで亡くなる「災害関連死」のほつが多い。

仮設住宅の建設や移動できるムービングハウスなど、応急的、機動的な仮設住宅の設置で改善が見込めると思いますが、市の見解を伺う。

答弁 戸田都市整備部長

### 他市の状況も確認し、今後検討していく

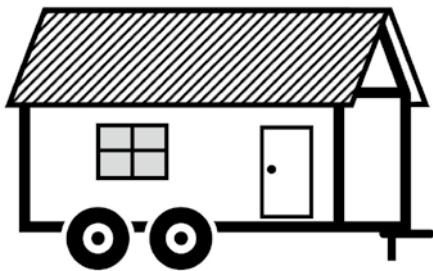
発災後、市営住宅の空室38戸分を6カ月間無償で提供し、当初26世帯の方にご利用いただいたが、自宅の再建が終了したなどの理由

- 台風19号災害対応での、初期対応はどうだったか
- 台風19号災害対応での、被災後の対応はどうだったか
- 災害対応の今後

により退去された方もおり、現在18世帯の方が引き続き入居している。

また、6カ月の無償提供期間は、5月11日までとなるが、今回の被害が甚大であることから、再建等が終了していない方には、利用期間の延長も検討していく。

なお、ムービングハウスなどについては、電気や水道などのインフラ整備が必要となる場合もあることから、他市の状況も確認し、今後検討していく。



被災地で普及する移動仮設住宅

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



小平 啓佑 議員  
栃木政策研究会

### 赤津川の現状を踏まえた市の対応について質問する

吹上地区は伊吹橋を中心として甚大な被害があったが、赤津川が伊吹橋の下流で東北自動車道の下を通過するとき、河川容量が減少しているのではないかと周辺の住民は疑っている。

私も現地を確認したが、東北自動車道の下を通過するときの河川構造に、上流部の越水・溢水の要因があると考えているが、市の見解を伺う。

答弁 國保建設部長

### 県による対応方策に対して支援・協力を進めたい

現在のところ、県から赤津川堤防の越水対策などの検討が行われていることから、市としては県による対応方策に対して、支援・協

- 吹上地区赤津川の河川改修計画
- 就職氷河期世代への就職支援
- 市の事業のデジタル化
- 蔵の街とちぎビジネスプラン
- コンテスト

力を進めたいと考えている。

なお、赤津川への流量の負担軽減を図る対策の一つとしては、流入する小河川の適正な維持管理の実施や、今にち、各地で試行されている田んぼダムなどの導入について、調査・検討を行いたいと考えている。

また、伊吹橋の下流については、県が現地を確認し、調査をしているので、今後の方向性を出す検討材料としていきたい。





梅澤 米満 議員  
無会派

### 担い手への 農地集積の推進を

農林水産省は、担い手への農地集積・集約化を推進するための機関である、農地中間管理機構の見直しを行っている。

今後、市は農地の集積向上に向けてどのように進めていく考えなのか。

また、生産性向上のため、国などの補助事業を利用しながら、土地改良区などの農地の再整備を推進するとともに、耕作に不向きな農地への対策を行うべきではないか。

答弁 福原産業振興部長

### 将来の担い手を把握し、 各種制度活用を提案する

昨年度、農林水産省から「農地中間管理事業の推進に関する法

- 市民の生活環境の保全推進
- 農地の集積と基盤整備事業の推進
- 災害に対する今後の対応

律」等の一部見直しが見込まれた。

この中では、地域内での話し合いに基づき、5〜10年後に地域の農業において中心的な役割を担う方を決定する「人・農地プラン」の実質化に向けて、農地の貸し借りに関する手続きの簡素化や、農地利用集積円滑化団体の統合、一体化などの方針が打ち出され、本年度から段階的に進められているところである。

市としては、現在、市農業委員会で実施した「農業経営状況・意向調査」の結果を基に、将来の担い手の把握に努めているところである。

今後は把握した担い手状況を地図上に明示し、地域で抱える問題や、将来の方針について話し合いを進めるとともに、有効な各種制度の活用を提案しながら、地域の担い手に農地が集積されるよう努めていく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



松本 喜一 議員  
栃木未来

### さらなる工業団地の造成・分譲 をして、雇用を生み出しては

本市では、工業・産業団地として、惣社、藤岡町中根、皆川城内、千塚、宇都宮西中核工業団地がある。

これらは市民の雇用を生み出しており、完売するのも間近である。本市は教育の街として多くの学生を送り出してきたが、雇用の場が少ないことから、他市や都心で就職する人が多いと考える。

そこで、さらに工業団地を造成・分譲し、雇用を生み出す考えがなにか伺う。

答弁 福原産業振興部長

### 栃木インター西地区・ 平川地区を計画している

本市の産業団地は、千塚産業団地をはじめ11団地があり、現在、分譲している千塚産業団地と宇都

- 新斎場整備事業
- 人口増加を目指した取り組み

宮西中核工業団地が早期完売の見通しがついたことから、次の産業団地の整備が喫緊の課題となっている。

そのため、今後の計画については、総合計画などの上位計画に基づきながら、地元の合意形成や県との協議を踏まえ、栃木インター西地区、及び平川地区の2地区を、次の産業団地として計画したところである。

具体的な概要としては、栃木インター西地区が、インター直結という立地を生かした物流系や製造系企業の集積。また、平川地区は、豊富な地下水を生かした食料品製造業及び関連企業の受け入れを目指すこととしている。

今後は、令和2年度の市街化区域編入に向けた国・県との協議が整い次第、具体的な土地利用計画を作成し、スピード感を持って産業団地の整備を進めていく。





森戸 雅孝 議員  
栃木政策研究会

第二子出産時の  
一時保育の受け入れ対応は

今回、この質問を取り上げる契機となったのは、市民の方からの「市外に住んでいる娘が第二子を出産するにあたり、第一子を見てもらおうと複数の保育施設に問い合わせたが、受け入れてもらえない保育施設が見つからなかった。」という相談である。

その方は大変落胆している様子であった。

このような方たちへの対応について、市の考えを伺う。

【答弁】高橋 ことも未来部長

早めにご希望の施設へ  
ご相談をいただきたい

一時保育の実施に当たっては、お子様を安全安心にお預かりする観点から、施設定員や保育士数を

- 台風第19号による水害の検証
- 里帰り出産
- 浮世絵を活用した栃木市の活性化事業

考慮して、利用定員等を定めているほか、お子様のアレルギー状態などの身体状況を把握するため、事前に面接を行っている。

このようなことから、利用直前でのお申し込みや、利用者が多い場合にはお預かりできないこともあるため、里帰り出産等で一時保育をご利用される場合には、早めにご希望の施設、あるいは保育課へご相談をいただきたい。

また、認可保育施設でお預かりができない場合には、一時保育を実施している認可外保育施設や、子育ての手助けをしてほしい人とおの手伝いのできる人が会員となり、育児の相互援助を行うファミリーサポートセンターを案内している。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



▶ 災害関連の補正予算はトータルで174億円に（1月臨時会）

1月22日に開催された臨時会では、台風第19号により被災した家屋等を市が解体・撤去する制度を創設したことと、昨年11月の臨時会で議決した災害関連予算の一部に不足が生じたことから、補正予算が提出され、全会一致で可決されました。



補正予算の内容を説明する大川市長

令和元年度 台風第19号補正予算関係の一般会計財源内訳

（単位：千円）

	第5次 (10/15)	第6次 (11/15)	第8次 (1/22)	合計
国県支出金	46,500	4,592,199	1,428,111	6,066,810
市債	0	5,637,700	1,296,500	6,934,200
財政調整基金繰入金	366,990	3,726,604	323,929	4,417,523
合計	413,490	13,956,503	3,048,540	17,418,533

## モニターインタビュー スペシャル (No.16、17)

紙面を充実させるためのアンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」に広報委員が直接インタビューするコーナーです。

現在ご協力いただいているモニターさんは今号で最後となります。  
約2年間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。

MONITOR  
INTERVIEW

16



議会広報紙モニター  
猪瀬 教亮 さん

**Q：議会広報紙モニターを引き受けてみての感想は**

**A：**今までは、市議会だよりに関心はなかったのですが、モニターを受けさせていただいてからは、行政に関心を持つようになり、機会があれば議会を傍聴したいと思うようになりました。とちぎ市議会だよりは年々読みやすくなり、身近な話題が多くなったと感じています。

**Q：栃木市や議会に要望はありますか**

**A：**災害後の市の対応は早かったので感謝しておりますが、その後の復興に関しての指針や検討結果を市民に報告していただきたいと思います。

**Q：子どもたちに対する施策についてはいかがですか**

**A：**現代の子どもたちはネットでのいじめや、目に見えない精神的なストレスを多く抱えておりますので、インターネットの使い方などの指導をしていただきたいです。

また、親が子どもに対して干渉することが多くなっていると感ずるので、子どもたちが自立できるよう、自ら考えて行動できる教育をお願いしたいです。

(インタビュアー：福富委員)

**Q：議会だよりを読んでいて感じたことはありますか**

**A：**高齢になると小さな文字の読み書きが非常につらくなっていくのですが、約2年間、議会だよりを読んでみて、議員の活動が手に取るように分かった感じがします。

第43号では表紙に防災服を着た全議員の姿が映っており、台風災害での苦勞が直感で分かりました。

議会での質問内容もコンパクトに記載され、大変分かりやすく理解できたように思います

**Q：栃木市に望むことをお聞かせください**

**A：**財政面で限度はあると思いますが、私たち高齢者は出かけるのにも交通手段の心配があります。

町の中心部は蔵タクを利用できますが、佐野市と接する私たちの地区では、生活圏のほとんどが佐野市になるため、「越境蔵タク」が実現されるのを切に希望いたします。

(インタビュアー：梅澤委員)



議会広報紙モニター  
一条 吉男 さん

MONITOR  
INTERVIEW

17

## ▶ もっと伝わる・もっと見やすい議会だよりを目指して（広報委員会研修会）

広報委員会において、(株)会議録センターの杉本誠一氏を講師にお招きし、1月27日に研修会を開催しました。

「議会だより編集を学ぶ」と題し、レイアウトの基礎、ラフレイアウトの書き方、見出しの役割と効果などを学び、グループワークでは「読みたくなる・わかりやすい議会だより」づくりの実践を行いました。

読者（市民）の目線を意識した、もっと伝わる・もっと見やすい「とちぎ市議会だより」を目指し、今後も研さんを積んでまいりたいと思います。



より実践的な手法を学びました

## ▶ 本市議会の取り組みに生かすために（議会運営委員会視察研修）



半田市議会の丁寧な説明をいただきました

1月30日の知立市議会では、大規模災害などの非常事態において、災害被害の拡大防止、ならびに議会機能の早期回復及び維持を図ることを目的とした「知立市議会BCP（業務継続計画）」を策定し、議会や議員としての役割について説明を受けました。

また、1月31日の半田市議会では、決算を予算に反映させることを目的に、議会による事務事業評価を行っており、その評価結果を翌年度の予算編成に生かすよう市長に要望している旨の説明を受けました。



表紙の写真

## 未来に向かって飛翔！

藤岡地域の小学生が活動しているバレーボールチーム（赤麻クラブ）の練習風景です。

現在、6年生の7名が活動しています。

昨年の佐野秋季大会5年生の部で優勝、今年1月の足利大会では、新チームで優勝することができました。

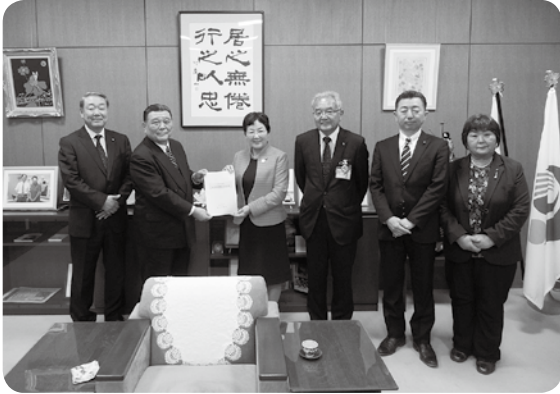
県大会出場に向けて、日々、全員バレーで練習に励んでいます。

毎週2回、藤岡総合体育館で練習しておりますので、皆様の参加をお待ちしております。※4月現在はコロナ対策のため、活動しておりません。

（表紙撮影：梅澤委員）



▶ 皆様の声を市長に届けました（議会報告会提言書）



述べ61名の方の声を大川市長に



詳しい内容は市のHPに掲載してあるよ。

昨年11月に各常任委員会で実施した議会報告会や、大学生世代および子育て世代と実施した意見交換会において、参加者からいただいた意見をまとめ、今後の市政運営に生かしていただくよう、市長へ提言いたしました。

市長に提出した提言事項

- 1. 消防団の機能強化による地域防災力の向上
- 2. 学童保育環境の充実による児童の健全育成
- 3. 部活動指導員制度の活用促進
- 4. 公共工事における働き方改革の推進による担い手の確保
- 5. 子育て環境の充実
- 6. 食物アレルギーへの理解促進と災害時の支援の充実

6月定例会の予定（変更になる場合があります）

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4	5	6
				新聞折込	本会議 議案等提案	
7	8	9	10	11	12	13
		本会議 『一般質問』				
14	15	16	17	18	19	20
	委員会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)					
21	22	23	24	25	26	27
			本会議 議案等採決			

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、6月4日(木)に新聞折り込みを予定しています。

オレンジ色の新聞折り込みチラシ裏面の「一般質問」をチェックしてください。身近な話題があるかもしれません。

なお、一般質問の様子はケーブルテレビや市議会のホームページからご覧いただけます。

3月定例会の傍聴者は・・・  
延べ132人でした。

栃木市議会広報委員会

今定例会では令和2年度の予算案を中心に議論が行われました。

昨年の台風第19号による被害から立ち直るため、今年を「復興元年」と位置付け、1日も早い復旧・復興を目指し、安心・安全な生活を取り戻すための予算が成立しました。

また、新型コロナウイルスが学校教育や経済に大きな影響を及ぼしています。

私達のふるさと「とちぎ」が明日への希望を灯し続けられるよう、議会一丸となって今後も取り組んでまいります。(浅野貴之記)

写真アドバイザー

古鯉 澤悦夫 沼孝雄 梅澤米満 関口孫一郎 内海まさかず 古沢ち子 大浦兼政 川上啓均 小野平啓佑 浅野貴之 福富善明

委員長 浅野貴之  
副委員長 小野平啓佑  
委員 福富善明

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。(TEL: 0282-21-2505)